

# 湿害農地の解消を支援します

## (1) 現在、地域はこのような農地で困っていませんか？

- ほ場の排水が思うようにできず、ぬかるみで農作業機械での作業が困難
- ほ場の排水不良が原因で、ほ場に溜まった水による畦畔浸食が見られる
- 水田の乾田化ができず、転作や裏作作物に影響が生じている

## (2) 湿害農地への対策には「暗渠排水」

- ほ場の乾田化することに伴い、作物生育条件が改善され収穫量の増加、新たな作物導入や作付面積の増加が見込まれる
- 水田の用排水管理にかかる労力の節減及びほ場の乾田化に伴う労働時間、機械作業時間の短縮により、農作業の効率が図られる

## (3) 暗渠排水の必要性の判断（目安）

- 土壌タイプによる判断（黒ボク土、灰色低地土、グライ台地土）
- 地下水位からの判断（降雨1週間以降、地表面より60cm以内に地下水がある場合）
- 地表残留水からの判断（水田では、湛水から24時間以内に地表残留水が排除できない場合）
- 地耐力からの判断（落水または降雨後1週間以降、平均で0.39N/mm<sup>2</sup>以下の場合）
- 土壌透水性からの判断（耕土下30cm程度で透水係数が、10<sup>-4</sup>cm/s以下の場合）

排水不良の農地



△排水が悪い農地

機能低下した暗渠排水



ポリ管：施工後15年経過



土管：施工後15年経過

## 事業の効果

農地の排水条件が改善

- 乾田化により大型機械の導入が可能になり、労働時間が短縮
- 畑作物の収量増加、露地・施設野菜の栽培面積の増加

生産性の高い農地の確保に伴う担い手農家への農地集積が促進

## 排水不良ほ場の原因追求を行っています（土改連自主研究）

本会では、平成29年度から暗渠排水に関する自主研究を行っており、ほ場の排水不良改善に向けた調査・研究に取り組んでいます。



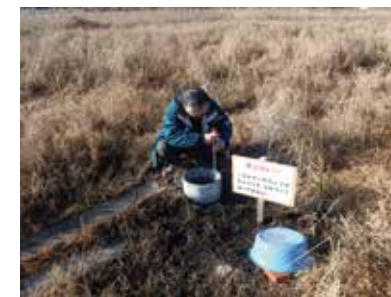
既設暗渠の確認



硬化層の確認



試験孔の設置



地下水位調査



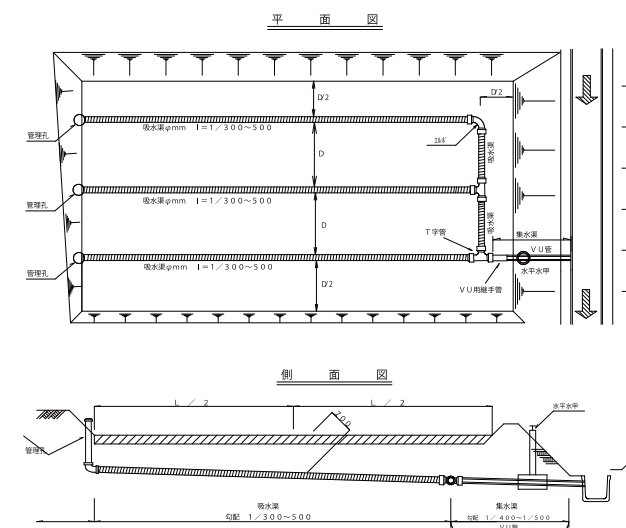
現場透水試験



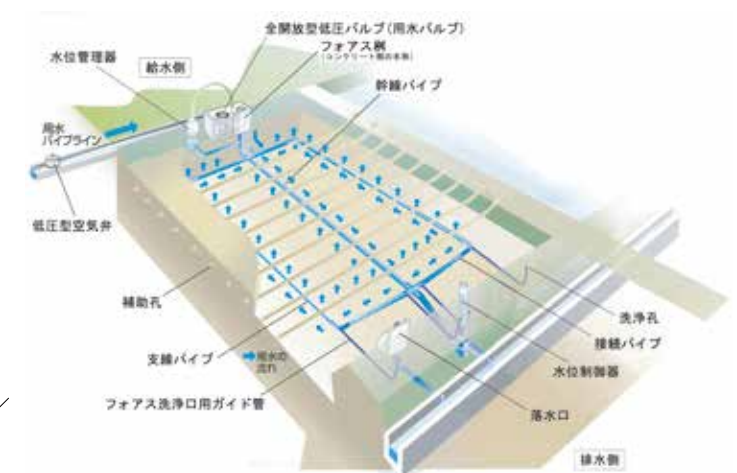
改善方法の提案

長年、排水不良ほ場に悩んでいた原因を追求し、改善するための対処方法や工法等を提案します。

暗渠排水標準図



地下水位制御システム「FOEAS」標準図



お気軽に  
お問い合わせください

問い合わせは、事業部農村整備課または最寄りの事務所・支部まで